

初めての挑戦



～土びなのきりえに挑戦する皆さん～

文化
なかの

中野市公民館報

2011
No.74
(通巻No.606)

5

発行
中野市中央公民館
編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

きりえ教室

中央公民館では、中野きりえの会の皆さんによるきり絵の作品展示が3月31日に、市民を対象にしたきり絵教室が4月1日に開催され、子どもから大人まで14名が土びなのきり絵作りに挑戦しました。中野きりえの会の皆さんによるていねいな指導により、初めてきり絵作りを体験した子ども達は、なれてきてからは気に入った原画をカッターで切るスピードも早くなりました。

参加者からは、「大変だったけれど、かわいい作品が完成して本当に嬉しい」「とても楽しかった。またやってみよう。土びなの表情に心が和みます」などと感想がありました。

今月号の
特集

第30回
中野市民書道展

あおぞら

東日本大震災で、ツイッターに次のようなエピソードが寄せられました。

「1回の信号で、1台しか前に進めないなんてザラだったけど、誰もが譲り合いい、穏やかに運転している姿に感動した。複雑な交差点で、交通が5分以上マヒする所もあったけど、10時間の間、お礼以外のクラクションの音を耳にしなかった。日本がますます好きになった」

普段は、我先にと争いがちな車社会であるが、大災害の時は、人は自然と助け合う心が出てくるということを感じました。

さまざまな思いをかかえながら、新しい生活が始まった今年の春。「文化なかの」の編集委員も、新しいメンバーで出発しました。地域文化を大切に、人と人とのつながりのよさを感じ合える紙面にしていきたいと思えます。どうかよろしく願います。

編集委員長 ムツゴロウ

第30回市民書道展



市長賞の授与

中央公民館と書道如水会は、3月31日、4月1日の両日、書道愛好家の技術の向上、文化の普及を目的に、第30回中野市民書道展を開催しました。

例年、市内の小中学生、書道愛好者や市内の書道グループに所属されている皆様の作品が一堂に会す本書道展は、本年30回目の節目を迎えました。今年出展された方は、183名（一般の部34名、小中学生の部149名）。その中から、一般の部では特選5名、秀作5名、入選8名。また、小中学生の部では90名の皆さんが入選され



あいさつする太田会長

中野市民書道展は、今年第30回という記念すべき展覧会となりました。これまで継続してこれたのは、公民館が共催という形で支えていただいたからと感謝を申し上げます。市民書道展の歴史を振り返って

書道如水会の歩み

如水会会長 太田 舛次

みたいと思います。

如水会が発足したのは、昭和32年、書道展を毎年開催し、一般市民からも募集をしましたが、小中学生が中心で一般からは、ほとんど出品がありませんでした。

昭和46年「ひな市書道展」として

公民館と共催で開催する事になりました。しかし、一般市民の出展は少なく、底辺を広げなくてはと公民館の主催で、書道教室や講習会を開催しました。その結果、各地に書道グループが誕生し、市民展の出品も毎年増えていきました。

第一回の書道展は、昭



力作が並びました

和47年に「ひな市書道展」を発展的に解消して、市民書道展として開催されました。以来現在に至っておりますが、中野市の書道の振興発展に寄与し第30回を迎えることができたのは、公民館の果たした役割が多であったと思います。

ました。

また、今回は第30回を記念して、市長賞、議長賞などが特別に設けられ、4月2日の表彰式では、市長賞の田川八重子さんに、直接小田切市長から授与がありました。

特選5名

- 【中野市長賞】 田川 八重子
- 【中野市議会議長賞】 小野 清美
- 【教育委員会賞】 阿部 朝子
- 【中央公民館長賞】 吉家 民子
- 【書道如水会長賞】 中村 久子

【秀作】5名

- 相馬 文子
- 山岸 武子
- 阿部 直美
- 青木 孝美
- 鎮目 直江
- 土屋摩智子
- 寺沢あい子
- 池田 春子
- 望月けさ子
- 阿部 久枝
- 荒井二三子
- 番場 由三
- 小田切静唱

【入選】8名

公民館レポート

人と人が出逢う交流の場が公民館

中高・飯水公民館役職員研修会開く

平成23年度中高・飯水公民館役職員研修会が4月16日(土)、山ノ内町文化センターで開催されました。

例年、中高地区(中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村)を対象に開催してきましたが、今年初めて飯水地区(飯山市)のみならずも一緒に参加され、公民館関係役職員74人(中野市29人)で、公民館が地域で果たす役割について研修しました。

最初に、参加者が8グループに分かれ、各地区の分館で行われている事業報告や日頃の公民館活動における悩みや課題について情報交換を行いました。

「少子高齢化が進む中、公民館の事業がマンネリ化し、人集めに苦勞している。」「公民館の事業を実施するのは苦勞が多いが、人間関係が希薄になって今こそ、公民館の事業に参加することにより、地域のみなさんのコミュニケ



グループ討議の様子

ーションが図れるのでは」など、活発な意見が出されました。つづいて、松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科の白戸洋教授から「公民館の役割とは」という演題で講演をいただき、「東日本大震災を受けた私たちは、今こそ地域コミュニティをどうしていくかという転機に立たされている」とまとめをいただきました。

子ども音楽講座

♪ミュージカルを楽しもう!♪



中央公民館では、昨年に引き続き子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう!」を開催します。内容は子どもたちが、ミュージカルを題材とした音楽活動に取り組むものです。

見学は自由ですので、ぜひごらんください。

講師

ソプラノ歌手・東京学芸大学准教授
嶋崎 裕美 先生 (総括・指導)
福原 智子 先生 (作曲)
矢嶋美紗希 先生 (振り付け・ダンス指導)
中西 勝之 先生 (ゲスト)
橋本 紗里 先生 (ピアノアシスタント)

会場 日程

中央公民館	講堂ほか
第1回	5月14日(土) 18:30~20:30
第2回	7月16日(土) 13:00~17:00
第3回	7月17日(日) 11:00~17:00
第4回	8月6日(土) 11:00~17:00
第5回	8月7日(日) 11:00~17:00
第6回	8月26日(金) 18:00~20:00
第7回	8月27日(土) 市民音楽祭出演予定

こんにちは 分館

東日本大震災、長野県北部地震と大きな災害が続きました。いろいろな報道がある中で、地域のあり方について考えさせられるこの頃です。新井分館は、世帯数220戸の分館です。

新井分館

公民館の事業は、一月のものづくり(まゆ玉づくり)に始まり、バスツアー、ガーデニング、区と共催の敬老会、年二回の館報の発行等を行

っています。

以前は、スキー、スポーツ大会等も行っていました。この地区も同じですが、少子化、人がなかなか集まらない等の理由で現在は行っていません。そんな中で、昨年のバスツアーは六年に一度の御柱の年であり、「諏訪大社へのバスツアー」には大勢の人に参加いただきました。公民館の事業を通じて、子供たちや区民の皆様と親睦と交流ができるよう、努力していきたいと思っております。

(新井分館長 相馬正博)



どんど焼きの記念撮影

ふるさととの歴史

新井薬師堂は、中野・飯山バイパスの新井陸橋わきにある。入口の石柱「南無阿弥陀仏」の記述によると、堂の今昔は次のようである。明和五年(一七六八)七月、上條村(山ノ内町)の得眼了道比丘(僧)が、ここに小庵を建て薬師如来を日夜拝みながら、修行に励んでいた。薬師如来は、衆生の病苦を救う仏様である。村内に寺院のない新井の人々にとっては、とりわけ大事な仏様であった。得眼了道比丘が新井に住んだのは、新井の招請によるも

のだったかも知れない。

さて、得眼和尚なきあとの後住は不明だが、堂守とか借家人などにより無住にはならなかった。大正五年(一九一六)には、屋根の葺き替えもした。薬師堂庭前で、三月にはヤ

新井薬師堂の今昔

冒頭で述べた瓦葺寄せ棟造りの見事な木造建築である。

シヨウマヒキをしたり、秋には、知恵のだんご投げなどをした。除夜の鐘を合図に新井神社と薬師堂に必ず二年参りを欠かさなかつたという。昭和五十五年(一九八〇)この堂を再建しようと、区長を筆頭とする再

ちなみに、棟梁は、新井の意気に感じた四ヶ郷(中野市)の田中建設である。再建委員は、高田管主を囲んだ記念の写真を、いまもって大切にされているようである。

(田中 毅)

「万葉集を読み味わう」 が講座記録集に

平成二十二年度教養講座「万葉集を読み味わう」(講師/信州大学名誉教授 滝澤貞夫先生)の講座記録を冊子にまとめました。ご希望される方へ無料配布しますので、お気軽に中央公民館へお越し下さい。

中央公民館 地域学習講座 ふるさと歴史探訪 中野市の社寺をたどる

第1回	場所	『南照寺・蓮光寺』中野	第3回	場所	『大徳寺・愛宕堂』片塩
	日時	5月18日(水)		日時	6月15日(水)
	講師	壇原 長則 先生		講師	河野 實 先生
第2回	場所	『西迎寺』上今井	第4回	場所	『長福寺』田上
	日時	6月1日(水)		日時	6月29日(水)
	講師	阿部 敏明 先生		講師	田中 毅 先生
	集合場所	中野市営第2駐車場		集合場所	片塩公会堂
	集合場所	西迎寺		集合場所	長福寺

- 定員 30名程度 ●受講料 無料
- 時間 各回とも午前9時30分～午前11時30分
- 申込み 5月2日(月)より

申込み・お問い合わせ
中央公民館 ☎22-2691

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	はじめてのスマートフォン ＜内容＞スマートフォンの基礎知識・操作・アプリ体験会	6月7日(火) 午後2時～3時30分 6月10日(金) 午後7時～8時30分	中央公民館 教室	NTT ドコモ	＜定員＞各16名＜受講料＞無料 スマートフォンはお貸しします。 ＜申込み＞5月9日(月)から ＜その他＞2日とも講座内容は同じ。
	ガーデニング教室	6月3日(金) 10時～12時	中央公民館	青木 律子 先生	＜定員＞30名＜材料費＞1,000円 ＜持ち物＞園芸用はさみ、エプロン 作品持ち帰り用袋 ＜申込み＞5月9日(月)から受付 します。
	家庭教育学級 楽しんで子育て ＜内容＞子育てについての 講演、おしゃべり会、 幼児食作り、ヨガなど	6月16日(木)～11月下旬 10時～11時30分 (全10回予定)	中央公民館	テーマごとの 講師が担当	＜定員＞30名 ＜会場＞中央公民館 教室ほか ＜対象＞育児中、これから育児を される方 ＜受講料＞無料 ＜材料費・傷害保険料＞1,000円 ＜申込み＞5月23日(月)から。材 料費・傷害保険料を添えてお申込 み下さい。
	料理教室	6月17日・7月15日・9月16日 10月21日・11月18日・12月16日 (全6回 第3金曜日) 9時30分～12時30分	中央公民館 料理実習室	管理栄養士 上野マリ子 先生	＜定員＞36名＜食材費＞3,000円 ＜持ち物＞エプロン、三角巾、ふ きん ＜申込み＞5月20日(金)から受付 します。
	源氏物語を 読み味わう	6月21日・28日 7月5日・12日・26日 (全5回 毎回火曜日) 10時～11時45分	中央公民館 講堂	信州大学 名誉教授 滝澤 貞夫 先生	＜受講料＞無料＜定員＞50名 ＜内容＞第十二帖「須磨」から読む ＜持ち物＞「須磨」の原文が書か れている本 ＜申込み＞5月9日(月)から受付 します。
公民館ギャラリー 木彫りを楽しむ会作品展 (5月30日まで)					
北部公民館	子育ていきいきサロン ＜内容＞子育て中の方・関心 のある方が楽しく学び合うサ ロンです。情報交換やお友達 づくりの場としてお気軽に。	6月～9月 10時～12時	北部公民館	テーマごとの 講師が担当	＜定員＞20名 ＜受講料＞無料(食材費等の実費 負担あり) ※託児あります
西部公民館	【母と子のすくのみ学級】 親子で楽しむ 音楽と遊びのひろば	5月30日・6月6日・6月27日 7月8日・8月22日・9月5日 10月24日・11月7日・11月21日 10時30分～12時	西部公民館	関 夕加里 先生 ほか	＜定員＞なし＜受講料＞無料 ＜内容＞ピアノに合わせ体を動か して親子で楽しくスキンシップを 図ります。 ＜申込み＞5月9日(月)より
	おやつづくり教室	7月25日・9月26日 10時～13時	西部公民館		＜定員＞20組 ＜受講料＞各300円(材料費として) ＜申込み＞6月27日(月)より
豊田公民館	【家庭教育学級】 笑顔で子育て ＜内容＞手あそび・スキン シップ絵本の時間、パラ シュートなどを使っての運 動、交流広場など	5月18日・6月22日・7月20日 8月24日・9月21日・10月26日 11月16日・12月14日・1月18日 2月15日 (全10回) 毎回水曜日 10時30分～13時	豊田公民館	関 夕加里 先生 ほか	＜受講料＞無料 ＜持ち物＞飲み物、タオル、脱い だり着たりしやすい服装 ＜申込み＞受付中
	古文書講座 ＜内容＞豊田地域上今井地区 の古文書を中心に講習します。	6月24日・7月22日・8月26日 9月30日・10月28日・11月25日 (全6回 毎回金曜日) 午後7時30分～9時30分	豊田公民館	館林 弘毅 先生	＜受講料＞無料 ＜定員＞20名



千曲川の流れ／壁田城址より（月岡尚雄）



雪割草／七瀬（㊦）



ど根性スミレ／延徳（きのこ）



春の訪れ／若宮（S.S）

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
 ☎222・2691
 Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、まず四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

生きる

花芽がそつと膨らみ始めた桃の枝。自分の人生で初めての剪定だ。むずかしい理屈はとうの昔、学校に置き忘れてきた。本棚には埃にまみれた農学書が並ぶ。手あかで汚れているのではない。あくまで40年近く埃にまみれているのである。自分勝手に理屈をつけては枝にハサミを入れる。桃にすれば迷惑そのものだろう。実は、ドキドキしながら、花が咲いてくれるのか、枯れはしないか、毎日観察していた。咲いたのだ。温かい春の陽ざしを受けて立派に花を咲かせてくれた。

強い生命力に感謝である。人もまた、たくましい力を秘めている。栄村で、東北や関東で大きな震災の被害を受けた人々にお見舞いを申し上げたい。私たちは共に復興を信じ、明日に向かって生きて行くのだ。